

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人

チャイルドファーストジャパン

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、2015年2月7日に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ（CAC かながわ）』で実施する子どもの権利擁護センター事業（CAC 事業）を含め、昨年度までの事業内容を継続しつつ、昨年度末に臨時総会を開催して定款を変更し、今年度4月1日より児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療（クリニック事業）を開始した。従って、主たる事業は、電話相談事業、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業、クリニック事業であった。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）予防教育事業は、神奈川県の実業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティーによる RIFCR™ 研修を継続した。

Gundersen National Child Protection Training Center（GNCPTC）が、2014年に ChildFirst™ を ChildFirst® として正式に商標登録したことに基づき、ChildFirst Japan も2014年度に ChildFirst™ 司法面接プロトコルを ChildFirst® 司法面接プロトコルに改訂した。その後、米国の主催団体が GNCPTC から Zero Abuse Project に代わり、2年ごとに改訂が進められている。これに準拠して今年度も司法面接研修を継続した。

また、2015年2月7日に『CAC かながわ』を開所したことに基づき、それまでは社会福祉法人子どもの虐待防止センター（東京）に協力する形で実施していた虐待被害児診察技術研修を2015年度から当法人の事業としても開始し、今年度も継続した。

なお、これら、ChildFirst Japan 研修事業会計（CF-J 事業）は、特定非営利活動に係る事業会計（CFJ 事業会計）と切り離し、ChildFirst Japan 事業会計（CF-J 事業会計）で管理した。この ChildFirst Japan 事業会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型 ChildFirst® 司法面接研修とセンター型 RIFCR™、ChildFirst® 拡大司法面接研修、ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修およびセンター型虐待被害児診察技術研修を特定非営利活動に係る事業とし、地方自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型 ChildFirst® 司法面接研修、出前型 ChildFirst® 拡大司法面接研修、出前型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修と出前型 RIFCR™ 研修および出前型虐待被害児診察技術研修を収益事業として実施した。

これによって、収益事業を一般会計収益事業（CFJ 一般会計収益事業）と ChildFirst Japan 事業会計収益事業（CF-J 事業会計収益事業）の二つに分けて経理した。

また、啓発事業として開催している「子ども虐待防止シンポジウム」（学術集会、パネル・ディスカッション）と児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療（クリニック事業）はそれぞれ、特別会計で経理した。

2 事業内容

（1）特定非営利活動に係る事業

① 電話相談事業

(定款第5条(1)① 電話相談事業)

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を修了した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者等からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。
- ・日 時 通年、週2回(原則として月・水曜日) 午前10時～午後4時
- ・場 所 この法人の事務所内 電話相談室
- ・従業者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、
電話相談受理件数 65件(新規17件)
メール相談受理件数 24件(新規 5件)
- ・支 出 額 224,941円

② 子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

(定款第5条(1)② 子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業)

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力した。
- ・日 時 事例Aの個別ケース検討会議
令和6年 5月 1日(水)
事例Bの個別ケース検討会議
令和6年 5月 9日(木)
令和6年 7月25日(木)
令和6年11月15日(金)
令和7年 2月20日(木)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室、C市役所、D中学校
- ・従事者人員 各回1～3人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの専門家で当該事例に関わる人、各回3～10人
- ・支 出 額 0円

イ 子どもの権利擁護センター事業(CAC事業)

- ・内 容 2015年2月7日に、当法人の事務所の1階に開所した『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』を子どものためのワン・ストップ・センターとして機能させ、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子どもたちや犯罪被害に遭った子どもたち、犯罪を目撃した子どもたち等に対して、多機関連携チーム(MDT: Multidisciplinary Team)の枠組みで司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 令和6年 5月29日(水)午後

- 令和6年 6月 5日(水)午後
- 令和6年 7月 17日(水)午後
- 令和6年 10月 16日(水)午後
- 令和6年 10月 30日(水)午後
- 令和6年 11月 27日(水)午後
- 令和7年 1月 29日(水)午後
- ・場 所 この法人の事務所の1階に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ(CAC かながわ)』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ
- ・支 出 額 568,859円

ウ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティーを派遣する事業であるが、今年度は該当事例がなかった。

③ 子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

(定款第5条(1) ③ 子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動)

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言する事業だが、今年度は該当事例がなかった。

④ カウンセリング事業

(定款第5条(1) ④ カウンセリング事業)

- ・内 容 本事業は子どものこころとからだのクリニック事業の中に組み入れて実施する計画だったが、今年度は当該診療を開始できなかったため、本事業も実施しなかった。

⑤ 自助グループ活動

(定款第5条(1) ⑤ 自助グループ活動)

- ・内 容 本事業は子どものこころとからだのクリニック事業の中に組み入れて実施する計画だったが、今年度は当該診療を開始できなかったため、本事業も実施しなかった。

⑥ー1 研究・研修事業

(定款第5条(1) ⑥ 研究・研修事業)

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした CFJ 研修会を開催した。
- ・日時及び場所 第103回 令和6年 5月25日(土)

講 師：CFJ 理事長 山田 不二子、
クリニック CAC かながわ 院長 田崎 みどり
場 所：子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
Zoom によるオンライン

参加者：会員 18 名、非会員 29 名、学生 3 名

第 104 回 令和 6 年 9 月 8 日(日)

講 師：犬塚 峰子氏 (児童精神科医)
場 所：子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
Zoom によるオンライン

参加者：会員 13 名、非会員 125 名、学生 0 名

第 105 回 令和 6 年 11 月 23 日(土・祝)

講 師：CFJ 理事長 山田 不二子
場 所：子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
Zoom によるオンライン

参加者：会員 7 名、非会員 33 名、学生 0 名

第 106 回 令和 7 年 2 月 9 日(日)

講 師：大久保 真紀氏 (朝日新聞編集委員)
場 所：子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
Zoom によるオンライン

参加者：会員 16 名、非会員 37 名、学生 1 名

計 4 回

- ・従事者人数 各回 3～5 人
- ・対 象 者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
各回 40 名～138 名
(延べ 282 名；会員 54 名、非会員 224 名、学生 4 名)
- ・支 出 額 911,346 円

イ 在宅支援技術研修

- ・内 容 「ネグレクト家庭への在宅支援」をテーマとして、市区町村職員（児童福祉担当、母子保健担当、障害福祉担当、生活保護担当、DV 担当、教育委員会等）民生児童委員、保育士、学校の教職員など、在宅支援にあたる職種間がお互いの役割や活動を相互に理解し、情報共有と連携協働の方法論を学ぶ研修を実施した。
- ・日 時 令和 6 年 6 月 22 日(土)
令和 6 年 9 月 29 日(日)
令和 6 年 11 月 10 日(日)
令和 7 年 1 月 18 日(土)
令和 7 年 3 月 8 日(土)
- ・場 所 神奈川歯科大学付属横浜クリニック 横浜研修センター 6 階 教室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・従事者人員 2 人～3 人

- ・参加者 19名(正会員4名、賛助会員4名、非会員11名)
- ・支出額 272,331円

ウ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動ボランティアを養成するための講座を開設する。
- ・日時 令和6年6月～9月
 基礎講座 2時間30分×4回(5月9日(木)、16日(木)、23日(木)、30日(木))
 講師;理事長 山田 不二子
 実践講座 3時間×3回(6月5日(水)、12日(水)、19日(水))
 指導者;この法人の電話相談員6人
 応用講座 2時間30分×4回(6月27日(木)、7月18日(木)、25日(木)、8月1日(木))
 講師;理事長 山田 不二子
- ・場所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 1～10人
- ・対象者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参加者 基礎講座5人、実践講座2人、応用講座2人
- ・支出額 53,407円

エ 「CACかながわ」ケース・カンファレンス

- ・内容 「子どもの権利擁護センター(CAC)かながわ」で実施した司法面接の録画ビデオを使ってピア・レビューを実施し、司法面接者の技術向上を目指すためにピア・レビューを適宜実施することとしているが、当法人の司法面接者は司法面接技術が十分に向上しているため、司法面接実施直後にスーパーバイザーである理事長が指導することで足り、ケース・カンファレンス(ピア・レビュー)を令和6年度に実施する必要はなかった。
- ・支出額 0円

オ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・内容 通告義務者向けの聞き取り研修を実施した。
- ・日時 横浜会場(ラジオ日本クリエイト 貸会議室)
 令和6年 4月21日(日) 参加者:39名
 令和6年 7月13日(土) 参加者:39名
 令和6年10月12日(土) 参加者:40名
 令和6年11月24日(日) 参加者:40名
 令和7年 1月19日(日) 参加者:40名
 令和7年 3月 9日(日) 参加者:39名
 名古屋会場(ウインクあいち)
 令和6年 6月30日(日) 参加者:40名

	令和6年 9月15日(日) 参加者：40名
	三重会場(じばさん三重)
	令和6年 7月27日(土) 参加者：40名
	令和6年 7月28日(日) 参加者：40名
	宮崎会場(宮崎県婦人会館)
	令和6年 9月28日(土) 参加者：40名
	大阪会場(エル・おおさか)
	令和6年10月20日(日) 参加者：40名
	令和7年 1月26日(日) 参加者：40名
・場 所	ラジオ日本クリエイト 貸会議室、ウインクあいち、じばさん三重、 宮崎県婦人会館、エル・おおさか
・講 師	ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回2～4人
・対 象 者	小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見 しやすい職種に従事する者、各回定員40人
・参 加 者	各回39～40人(延べ517人)
・支 出 額	6,629,938円

カ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 司法面接研修

・内 容	多機関連携チーム(MDT)の枠組みで実施する司法面接(調査・捜査のための聞き取り)の研修を実施した。 研修プロトコルは、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発し、現在は Zero Abuse Project が運営する ChildFirst® 司法面接プロトコルである。		
・日 時	第1回；令和6年 7月 3日(水)～ 7日(日)	参加者：20名	
	第2回；令和6年 8月 8日(木)～ 12日(月・祝)	参加者：20名	
	第3回；令和6年10月23日(水)～ 27日(日)	参加者：20名	
	第4回；令和7年 2月26日(水)～ 3月2日(日)	参加者：20名	
・場 所	プロミティあつぎ、子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および 1階 司法面接室・観察室		
・講 師	ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー(子どもの司法面接 Zero Abuse Project 認定トレーナー) 8人		
・対 象 者	全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・ 看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人(延べ80人)		
・参 加 者	各回20名(延べ80名)		
・支 出 額	4,090,988円		

キ ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® 拡大司法面接研修

・内 容	『拡大司法面接』とは、1回の司法面接を複数のセッションに分けて実施することを指す。1セッションで実施する伝統的司法面接では、マルトリートメント被害の詳細を聞ききれなかったような場合、あるいは、被害がたくさんあって、1回のセッションでは聞ききれないため、複数のセッションに分
------	--

ける必要が生じる場合などに実施される。拡大司法面接を実施する際に配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、3日間(1日あたり原則、午前9時～午後6時)かけて研修を実施した。

- ・日 時 令和6年9月12日(木)～14日(土) 参加者：16名
令和7年1月11日(土)～13日(月・祝) 参加者：13名
- ・場 所 プロミティあつぎ
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者27名
- ・参 加 者 各回13名～16名(延べ29名)
- ・支 出 額 1,228,474円

ク ChildFirst Japan センター型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修

- ・内 容 司法面接に関するピア・レビューアーの育成をする2日間研修を実施した。
- ・日 時 令和6年9月15日(日)～16日(月) 参加者：7名
令和7年2月 1日(土)～ 2日(日) 参加者：8名
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ2階研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子他 CF-J 司法面接ファカルティー
- ・対 象 者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者、各回定員8名
- ・参 加 者 各回7名～8名(延べ15名)
- ・支 出 額 421,979円

ケ センター型虐待被害児診察技術研修

- ・内 容 多機関連携チーム(MDT)を構成する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官や将来、子どもの権利擁護センター(CAC)の職員として活動する可能性のある職専門職を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指す研修を実施した。
なお、講義の都合上、今年度より2日型研修のみとする。
- ・日 時 令和6年 6月 8日(土)～ 9日(日) 参加者：12名
令和6年 9月 21日(土)～22日(日) 参加者：12名
令和6年11月 2日(土)～ 3日(日) 参加者：11名
令和7年 1月 25日(土)～26日(日) 参加者：12名
令和7年 3月 15日(土)～16日(日) 参加者：12名
計5回
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室および1階 診察室
- ・講 師 理事長 山田 不二子
- ・対 象 者 前半講義のみ参加；子ども虐待に関わる全ての専門職種、各回定員12人
前半講義及び後半講義と実技参加；医師、助産師、看護師等医療者およびMDT コア・メンバーとなる職種(児童福祉司、警察官、検察官、CAC 職員)、各回定員12人

- ・参 加 者 11名～12名(延べ59名)
- ・支 出 額 862,229円

⑥ー2 研究・研修事業（収益事業）

（定款第5条（1）⑥ 研究・研修事業）

ア 「虐待相談かながわ」 ケース・カンファレンス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 月2回、原則として第一月曜日 午後3時～6時、第三水曜日 午後6時～8時、ただし、司法面接・系統的全身診察が行われない場合は4時～6時
4月17日(水)、7月1日(月)、7月17日(水)、9月9日(月)、9月18日(水)、11月11日(月)、11月20日(水)、2月12日(水)
- ・場 所 子どもの権利擁護センターかながわ 2階 研修室
- ・講 師 理事長 山田 不二子（スーパーバイザー）
- ・従業者人員 2～3人
- ・対 象 者 この法人の電話相談員6～12人
- ・支 出 額 0円

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・内 容 通告義務者向けの聞き取り研修を招聘元に出向して実施した。
- ・日 時 令和6年 5月12日(日)：北海道室蘭市
招聘元：子育てサポート SAMAYOKA
社会福祉法人ビハーク室蘭
場 所：浄土真宗本願寺派本光寺会館
参加者：32名
令和6年 6月15日(土)：北海道函館市
招聘元：函館中央病院 医療福祉相談室
場 所：函館中央病院
参加者：37名
令和6年 6月16日(日)：北海道函館市
招聘元：函館中央病院 医療福祉相談室
場 所：函館中央病院
参加者：23名
令和6年 6月20日(木)～21日(金)(2日で1回)：法テラス
招聘元：日本司法支援センター本部
場 所：法テラス本部会議室
参加者：40名
令和6年 7月22日(月)：福岡県福岡市
招聘元：こども未来局 こども総合相談センター
場 所：福岡市こども総合相談センター 7階 視聴覚室
参加者：40名
令和6年 7月23日(火)：福岡県福岡市

招聘元：こども未来局 こども総合相談センター

場 所：福岡市こども総合相談センター 7階 視聴覚室

参加者：40名

令和6年 7月29日(月)：神奈川県伊勢原市

招聘元：伊勢原市

場 所：シティプラザ ふれあいホール

参加者：23名

令和6年 8月 2日(金)：京都府京都市

招聘元：京都府家庭支援総合センター

場 所：京都府家庭支援総合センター

参加者：40名

令和6年 8月19日(月)：千葉県千葉市

招聘元：千葉市教育委員会

場 所：千葉市役所

参加者：37名

令和6年 9月 8日(日)：新潟県長岡市

招聘元：子ども虐待防止ネット・にいがた

場 所：長岡市医師会館

参加者：35名

令和6年10月 1日(火)：茨城県水戸市

招聘元：茨城県中央児童相談所 子ども家庭支援課

場 所：茨城県中央児童相談所 大会議室

参加者：37名

令和6年10月 6日(日)：福岡県福岡市

招聘元：ふくおかこどもの虐待防止センター

場 所：天神ビル11階9号室

参加者：39名

令和6年10月29日(火)：栃木県宇都宮市

招聘元：栃木県中央児童相談所

場 所：栃木県中央児童相談所

参加者：38名

令和6年11月 2日(土)：群馬県前橋市

招聘元：前橋赤十字病院

場 所：前橋赤十字病院

参加者：26名

令和6年11月 8日(金)：東京都港区

招聘元：港区児童相談所

場 所：港区児童相談所

参加者：39名

令和6年11月15日(金)・16日(土)：愛知県名古屋市

招聘元：日本福祉大学 社会福祉総合研修センター

場 所：ウインク愛知 1 2 階

参加者：4 0 名

令和 6 年 1 1 月 1 6 日(土)：愛知県名古屋

招聘元：日本福祉大学社会福祉総合研修センター

場 所：ウインク愛知 1 2 階

参加者：3 8 名

令和 6 年 1 2 月 6 日(金)：神奈川県横浜市

招聘元：横浜市児童相談所

場 所：横浜市中央児童相談所 5 階ホール

参加者：4 0 名

令和 7 年 2 月 1 5 日(土)：東京都文京区

招聘元：女性の安全と健康のための支援教育センター

場 所：東京科学大学 湯島キャンパス

参加者：2 8 名

令和 7 年 2 月 2 1 日(金)：宮崎県宮崎市

招聘元：宮崎県中央児童相談所

場 所：宮崎県庁防災庁舎 会議室

参加者：4 0 名

令和 7 年 2 月 2 2 日(土)：島根県益田市

招聘元：益田赤十字病院

場 所：益田赤十字病院

参加者：3 9 名

令和 7 年 2 月 2 8 日(金)：香川県善通寺市

招聘元：四国子どもとおとなの医療センター

場 所：サンポート高松

参加者：1 9 名

令和 7 年 3 月 1 日(土)：香川県善通寺市

招聘元：四国子どもとおとなの医療センター

場 所：四国子どもとおとなの医療センター

参加者：1 7 名

令和 7 年 3 月 2 2 日(土)千葉県千葉市

招聘元：千葉県こども病院

場 所：千葉県こども病院

参加者：3 5 名

令和 7 年 3 月 2 3 日(日)：千葉県旭市

招聘元：総合病院国保旭中央病院

場 所：総合病院国保旭中央病院

参加者：3 9 名

・ 講 師
・ 対 象 者

ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回 3 ～ 4 人

小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員 4 0 人

- ・従業者人員 6～7人（このうち、3～4人は RIFCR ファカルティー）
- ・参加者 各回23～40名(延べ861名)
- ・支出額 2,681,725円

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 司法面接研修

- ・内容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、GNCPTC (Gundersen National Child Protection Training Center)が開発し、現在は Zero Abuse Project が運営する ChildFirst® 司法面接プロトコルを多機関連携チーム (MDT : Multidisciplinary Team) で構成された受講者に研修し、MDT の枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築するために、出前型 ChildFirst® 司法面接研修を実施した。
- ・日時 令和6年7月3日(水)～7日(日)
- ・場所 九州管区警察学校
- ・講師 ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー（子どもの司法面接 Zero Abuse Project 認定トレーナー）6人
- ・対象者 各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・従業者人員 8～10人（このうち、7人は ChildFirst Japan 司法面接研修ファカルティー）
- ・参加者 20名
- ・支出額 1,242,779円

エ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® 拡大司法面接研修

- ・内容 拡大司法面接を実施する際に配慮しなければならない正しい知識と適切な実施方法について、自治体等の団体・組織からの招聘に基づいて、3日間(1日あたり原則、午前9時～午後6時)かけて研修した。
- ・日時 令和6年9月4日(水)～9月6日(金)
- ・場所 大阪高等検察庁
- ・講師 理事長 山田 不二子
- ・対象者 ChildFirst® 司法面接研修、ChildFirst™ 司法面接研修、RATAC® 司法面接研修の修了者18名
- ・従業者人員 3～5人（このうち、1人は理事長 山田 不二子）
- ・支出額 432,810円

オ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst® ピア・レビューアー養成研修

- ・内容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、司法面接ピア・レビューアーを養成する研修を2日間かけて実施する事業だが、令和6年度は実施しなかった。
- ・支出額 0円

カ 出前型虐待被害児診察技術研修

- ・内容 自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、多機関連携チーム(MDT)を構成

する医療者、児童相談所職員、警察官、検察官、子どもの権利擁護センター(CAC)職員等を対象として、MDT のあり方を研修するとともに、虐待被害児の病態理解と診察技術の習得を目指して実施した。

・日時及び場所 令和6年 8月 4日(日): 港区児童相談所

招聘元: 港区児童相談所

場 所: 港区児童相談所

参加者: 8名

令和6年10月13日(日)

招聘元: 横浜市児童相談所

場 所: 横浜市民市民病院

参加者: 13名

令和7年 2月16日(日):

招聘元: 聖マリアンナ医科大学病院

場 所: 聖マリアンナ医科大学病院

参加者: 20名

・講 師 理事長 山田 不二子、栗原 八千代氏(医師)

・従業者人員 1~3人(このうち、1人は理事長 山田 不二子)

・対 象 者 招聘元が招集した参加者

・支 出 額 199,758円

キ 「子どもの権利擁護センターかながわ」見学 及び 研修

・内 容 「子どもの権利擁護センターかながわ」施設見学と研修を実施した。

・日時及び場所 令和6年5月27日(月)

場 所: 子どもの権利擁護センターかながわ

内 容: CAC視察

参加者: 東京工科大学東京工科大学 医療保健学部 看護学科

令和6年7月20日(土)

場 所: 子どもの権利擁護センターかながわ

内 容: CAC取材

参加者: Learning For All職員

令和6年8月16日(金)

場 所: 子どもの権利擁護センターかながわ

内 容: CAC見学

見学者: 公立小学校教員

・支 出 額 0円

ク 専門家派遣事業 講演会・講義等に対する講師派遣

・内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣する事業であり、数件の打診はあったが、正式な招聘には至らなかった。しかし、本事業のためのやりとりにおいてコピー機の使用等、経費が生じた。

- ・講 師 山田 不二子（招聘講師としての打診対象）
- ・従業者人員 1～3人
- ・支 出 額 157円

⑦ 啓発事業

（定款第5条（1）⑦ 啓発・出版事業）

ア 学術集会

- ・内 容 第26回子ども虐待防止シンポジウム
テーマを「児童の権利に関する条約批准30周年に考える『子どものアドボカシー』とは」とし、国際連合子どもの権利委員会副委員長 Bragi Guðbrandsson 氏を日本に招聘して開催した。
経理は「令和6年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理する。
- ・日 時 令和6年12月21日(土)午前10時～午後5時
- ・場 所 ラジオ日本クリエイト 貸会議室(会場参加)、ウェブ配信併用
- ・従事者人員 12～15名
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育等の関係者 約50人
- ・海外招聘講師 Bragi Guðbrandsson 氏：国際連合子どもの権利委員会副委員長
- ・日本人講師 大谷 美紀子氏：国際連合 子どもの権利委員会委員(前委員長)
安孫子 健輔氏：全国子どもアドボカシー協議会 事務局長
毎原 敏郎氏：兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科
守屋 充司氏：仙台市立病院 小児科 兼 救命救急センター
本山 景一氏：茨城県立こども病院 救急集中治療科
山田 不二子：認定NPO 法人チャイルドファーストジャパン 理事長
- ・参 加 者 51名（正会員8名、非会員36名、学生1名、スタッフ6名）

イ パネル・ディスカッション

- ・内 容 学術集会で紹介した日本へのCACの導入について、海外のCAC設置事例に鑑みつつ、ディスカッションを実施した。
- ・日 時 令和6年12月22日(日)午前10時～午後4時30分
- ・場 所 ラジオ日本クリエイト 貸会議室(会場参加)、ウェブ配信併用
- ・従事者人員 12～15名
- ・対 象 者 児童福祉・母子保健・医療・教育等の関係者 約50人
- ・海外招聘講師 Bragi Guðbrandsson 氏：国際連合子どもの権利委員会副委員長
- ・日本人講師 大谷 美紀子氏：国際連合 子どもの権利委員会委員(前委員長)
安孫子 健輔氏：全国子どもアドボカシー協議会 事務局長
毎原 敏郎氏：兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科
守屋 充司氏：仙台市立病院 小児科 兼 救命救急センター
本山 景一氏：茨城県立こども病院 救急集中治療科
- ・座 長 山田 不二子：認定NPO 法人チャイルドファーストジャパン 理事長
- ・参 加 者 51名
- ・支 出 額 3,759,259円（学術集会とパネル・ディスカッションの合算）

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

- ・内 容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムや各医療機関が独自に開発した SBS 予防教育プログラム等を神奈川県内の医療機関に広める神奈川県の事業に協力することで、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。
- ・日 時 令和6年12月 3日(火)午後1時～5時 (SBS 講義)
令和6年12月24日(火)午後1時30分～5時 (SBS 予防プログラム実習)
- ・場 所 神奈川県平塚保健福祉事務所
- ・従業者人員 4～6人
- ・対 象 者 指導者研修：各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師
- ・支 出 額 0円

エ ニューズレターの発行

- ・内 容 令和6年度はニュースレターを発行しなかった。
- ・支 出 額 0円

オ インターネット・ホームページの開設

- ・内 容 インターネット・ホームページを2002年4月に開設し、今年度も継続した。
- ・日 時 通年
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 1人
- ・支 出 額 271,796円

カ 一般社団法人日本子ども虐待防止学会第30回学術集会かがわ大会 パネル展示

- ・内 容 一般社団法人日本子ども虐待防止学会(JaSPCAN)第30回学術集会かがわ大会に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示した。
- ・日 時 令和6年11月30日(土)～12月1日日(日)
- ・場 所 高松シンボルタワー ホール棟 3階 大ホール前
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 JaSPCAN 第30回学術集会かがわ大会の参加者
- ・支 出 額 0円

⑧ 児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療（クリニック事業）

（定款第5条（1）⑧ 児童精神科・精神科・小児科・婦人科等の診療）

- ・内 容 令和6年4月1日より『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』（旧『子どもの権利擁護センターかながわ内診察室』）において、虐待・ネグレクトを受けた子どもたちの治療を開始した。
- ・日 時 児童精神科・精神科診療
月曜日：午前10時～午後1時、午後3時～午後7時

木曜日：午前１０時～午後１時、午後３時～午後７時

金曜日：午前１０時～午後１時、午後３時～午後７時

小児科・婦人科診療（系統的全身診察）

水曜日：午後１時３０分～午後７時

- ・場 所 この法人の事務所の１階に設置された『子どものこころとからだのクリニック CAC かながわ』
- ・従事者人員 各回４～６人（このうち、各日医師１名、公認心理師もしくは看護師１名）
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトを受け、治療が必要な子どもたち
- ・支 出 額 ２１,８７３,０１０円

⑨ アナトミカル・ドール販売事業

（定款第５条（１）⑨ その他目的を達成するために必要な事業）

- ・内 容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行う事業令和６年度は、実施しなかった。
- ・支 出 額 １３円

（３）その他の事業

①チャリティー事業

（定款第５条（２）① チャリティー事業）

ア チャリティー・パーティー

- ・内 容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行う事業だが、令和６年度はチャリティー・パーティーを行わなかった。